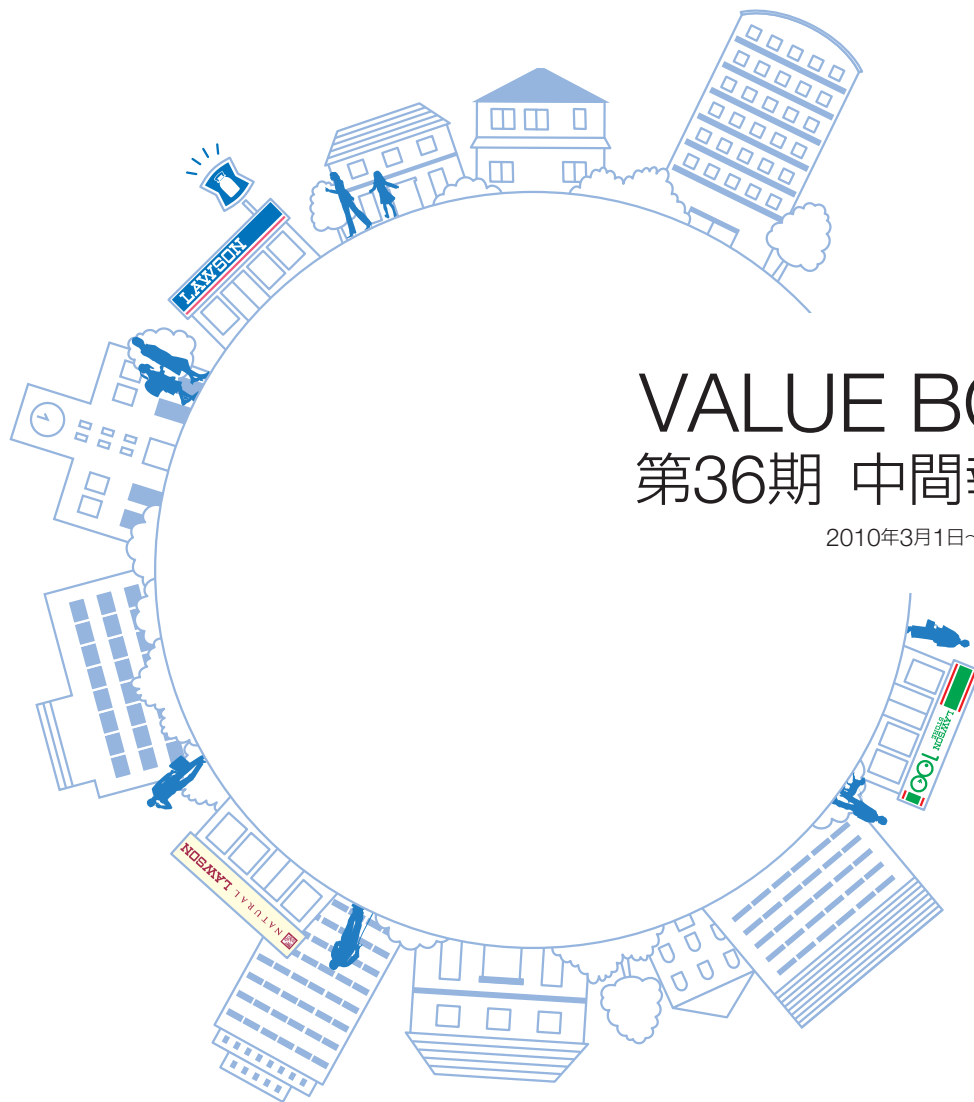


LAWSON



VALUE BOOK

第36期 中間報告書

2010年3月1日～2010年8月31日

ローソンは、 マチのほっと



元気になろーソコ!

—— 第36期上期(2010年8月期)の業績について教えてください。

当第2四半期連結累計期間(2010年3月1日から2010年8月31日まで)は、記録的な猛暑によりドリンク類、アイスクリーム類などの一部の商品群において売上が増加したものの、グループ全体の営業総収入は、直営店のFC(フランチャイズ)化を進めたことなどに伴い2,212億5百万円(前年同期比2.4%減)となりました。一方で、効果的な経費コントロールが奏功し、営業利益は微増の301億48百万円(同0.0%増)となりました。また、四半期純利益は、研修施設の売却損やシステムの除却損などの特別損失を計上したことなどにより、122億88百万円(同22.6%減)となりました。

—— 下期の注力施策について教えてください。

下期につきましては、以下の施策を柱に取り組みていきます。

第一に、機会ロス(お客さまが必要としている商品



代表取締役社長 CEO 新 浪 剛 史

Profile

新 浪 剛 史(にいなみ たけし)

1959年生まれ。三菱商事(株)に入社。ハーバード大学経営大学院卒業(MBA:経営学修士取得)。給食事業の(株)ソデックスコーポレーション(現:(株)レオックジャパン)代表取締役に就任。2002年、43歳で当社代表取締役に就任、現在に至る。

お客さま一人ひとりにとっての ステーションを目指します。

が売場で品切れしていること)の削減です。FC加盟店の利益向上・発展はローソンの成長に不可欠です。そのために、「PRISM(プリズム)」という発注業務改革を実現する次世代情報システムを導入し、お客さま起点の品揃えに取り組んでいます。また、新システムでは、機会ロスを数値化して「見える化」を実現しました。「見える化」によって機会ロスが減り、お客さまの欲しい商品をきちんと品揃えすることが可能となり、お店の評価、売上の向上にもつながります。

第二に、共通ポイントカード「Ponta(ポнта)」を活用した、マーケティング分析や販売促進策の推進です。「Ponta」の参画企業のカード発行枚数は約2,500万枚と好調に増加しています。カード会員数の増加とともに利用率も増加し、また、参画各社との相互送客効果が期待できるなど、ローソンにとって大きな武器となっています。カード会員の購入データの蓄積と分析によりマチ(地域)のお客さまをよく知ることが可能となり、お客さまの嗜好や年齢、性別に合わせた商品開発、新たなニーズを発掘していきます。また、お客さまにとっては、「Ponta」に加入することにより、ポイントを貯めやすく、さらに充実した特典やサービスを受けやすくなります。今後、(株)ローソンエンターメディアを子会社に持つ強みを最大限に活かし、エン

タテインメントを活用した他社にはまねのできない企画を提供していきます。

最後に、Q(品揃え)・S(接客)・C(清掃)という店舗運営の基本の徹底です。いかなる施策も店舗運営の基本ができていなければ、効果を発揮することはできません。ローソンでは、ミステリーショッパー制度(覆面調査員がお客さまの視点で各店舗を客観的かつ定量的に評価する仕組み)を継続して実施しており、店舗運営力の強化につなげています。

—— 今後、中長期的に重点を置く施策について教えてください。

日本国内におけるCVS(コンビニエンスストア)の成長余力は、まだまだあると考えています。成長の力ぎは「客層拡大」です。日本のCVS業界の現状について、私たちは、「20~30代の若い男性を主要客層としている従来型のCVSが、高齢化・少子化という日本の人口動態の変容の中で、同質化競争によって飽和している」と考えています。したがって、今までCVSをあまり利用されなかった女性やシニアのお客さまにとって魅力的な店舗フォーマットや品揃えを実現することで十分に成長できると考えています。中長期的に持続可能な成長を可能にするために、以下の施策を進め

ていきます。

【生鮮強化】

ローソンでは、子会社の(株)九九プラスを通じて、生鮮食品の取扱いを強化してきました。生鮮食品の展開で得られたノウハウは差別化の最大の武器であり、今後、住宅立地を中心に生鮮強化型の店舗も積極的に展開していきます。

【店内調理】

ローソンは、店内で調理した「できたての美味しいお弁当・惣菜」をお客さまに提供することを目指し、2004年から6年間実験を重ね、誰でも・短時間で・おいしく店内で調理ができるシステムを開発しました。お客さまから注文を受けその場で調理する「ライブキッチン」、惣菜やご飯をご自身で選んで所定の容器に好きなだけお取りいただける「彩りビュッフェ」、主にピーク時にあわせて店内で調理して提供する「できたて弁当」の3つのサービスをはじめ、お客さまから高いご支持をいただいています。上期は、関西を中心として20店の展開をしましたが、下期以降は全国で本格展開を進めていきます。

【ヘルスケア】

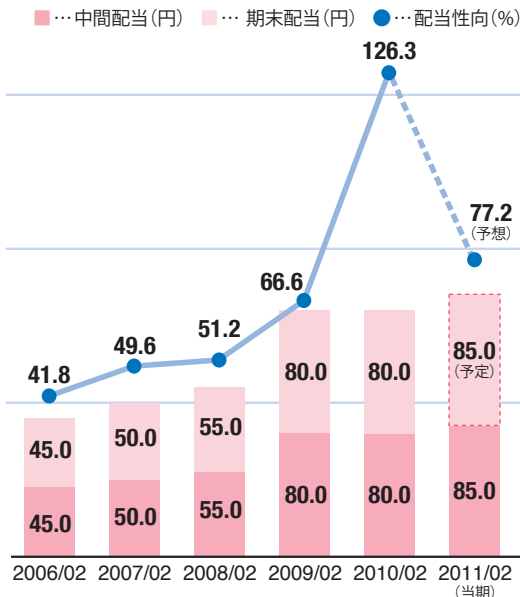
急速に進む高齢化社会の中で、お客さまが求める「健康で快適な生活」の実現に向けて「心と体の健康提供モデル」を構築します。まず、アライアンスを通じて医薬品販売におけるノウハウを習得し、登録販売者の育成により既存店舗への医薬品販売の拡大を行います。また、一般医薬品・化粧品・日用品の3つのカテゴリーを中心に、付加価値の高い高品質な商品を開発し、それらを販売するCVSとドラッグストアの融

合店舗を展開します。併せて、薬局の業態転換を中心とした調剤薬局併設店舗の出店も進めていきます。

— 今後の海外展開について教えてください。

1996年に進出を果たした上海市では、インフラの未整備や文化の違いを乗り越え、現在の店舗数は300店舗超にまで拡大し、今年是世界が注目する上海万博会場内への出店も実現しました。また本年4月には、北京市、上海市、天津市と並ぶ中国の直轄市の一つである重慶市に子会社を設立し、7月から出店を開始しました。今後、上海華聯ローソンのノウハウを活かしながら、中国大都市でのさらなる出店拡大、さ

◆ 配当金と連結配当性向の推移



らに他のアジア諸国への進出も目指していきます。

——株主への還元策について教えてください。

株主の皆さまへの利益還元策につきましては、今後の成長に必要な内部留保を確保したうえで、配当金をもって実施することを基本方針としています。配当金につきましては、株主の皆さまに今後も中長期的にご支援いただきたいという思いから、2011年2月期の年間配当金は1株につき10円増配の170円を予定しています。また、自己株式の取得及び消却につきましては、株価の動向や手元流動性などを考慮したうえで実施を検討します。中長期的には、成長のための設備投資計画や買収案件などの資金需要と資本効率を勘案しながら、引き続き積極的に株主の皆さまへの利益還元を努めていきます。

——最後に株主の皆さまにメッセージをお願いします。

ローソンは、多くのチャレンジに取り組んでいます。こうした取り組みのベースにあるのは「みんなと暮らすマチ」を幸せにしたい」という強い思いです。この強い思いを実現するために、時代のニーズに対応し、「生鮮」「店内調理」「ヘルスケア」といった新しい取り組みにどんどんチャレンジしていきます。今後も業界のイノベーションリーダーとして、企業価値を向上するため新たな挑戦を続けていきます。また、安全・安心な食の提供、地球温暖化をはじめとする環境問題など、今後ますますCVSの社会的責任が問われていくものと考え、ローソンでは品質管理体制の強化やCO₂削減、食品リサイクルなどにも積極的に取り組んでい



ます。このような取り組みを通じて、一つひとつのマチで「ローソンがあつて良かった」とお客さまに認めていただくことが、企業価値のさらなる向上につながっていくものと信じています。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ローソンといえばおにぎり 「おにぎり屋」は進化を続けています。

近年強くなった価格以上の価値を求めるお客さまニーズに対応して、商品の価値を3割アップさせることを目指して好評をいただいている「驚きの商品開発プロジェクト」。コンビニの看板商品“おにぎり”も改革に挑戦しました。

第1弾として、“米、海苔、塩”にこだわった高級おにぎりシリーズ「新潟コシヒカリおにぎり」を2010年6月からお求めやすい139円(税込)の均一価格としました。さらに第2弾として、7月からは今までにない高級食材を使用したローソン史上最高級のおにぎり「贅沢新潟コシヒカリおにぎり」シリーズを発売しました。

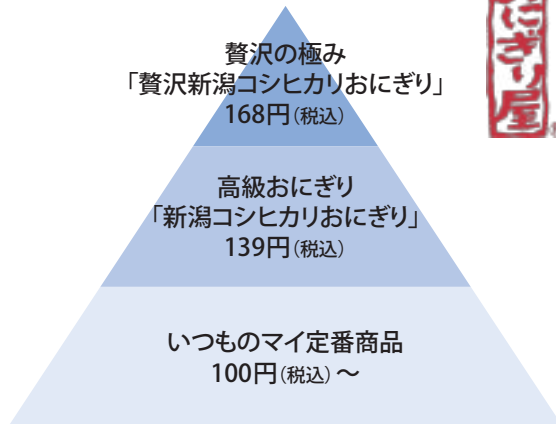
また、11月8日からは「おにぎり屋」を新装開店し、白いご飯のおにぎりについてはすべて新潟コシヒカリ米に切り替えるとともに、認知度の更なる向上のために積極的な広告販促活動も展開しています。

今後もローソンは、コンビニエンスストアの看板商品である“おにぎり”を進化させ、お客さまに驚きと満足を提供していきます。

驚きの商品開発プロジェクト

お客さまの「たまには良いものを」というご要望にお応えすることを目的に2009年7月より稼働したプロジェクトです。このプロジェクトは、原材料仕入の工夫や新しい技術の導入によって価格に対する商品の価値を3割アップさせ、お客さまに「驚き」をご提供することを目指しています。おにぎりだけでなく、デザート、パスタ、弁当各分野においても商品開発が進んでいます。

■「おにぎり屋」の新戦略マップ



■ 贅沢の極み「贅沢新潟コシヒカリおにぎり」シリーズ



2010年11月8日発売
「贅沢新潟コシヒカリおにぎり 炙り鮭ハラス」
168円(税込)

ノルウェー産のアトランティックサーモンを使用しています。



2010年11月16日発売(予定)
「贅沢新潟コシヒカリおにぎり かにいくら」
168円(税込) ※1週間限定発売

かにのほぐし身は鳥取県境港産の新モノのみを使用しています。



2010年11月23日発売(予定)
「贅沢新潟コシヒカリおにぎり 炙りたらこ」
168円(税込)

厳選した真子原料を丁寧に漬け込み、表面を香ばしく炙りました。

※商品の仕様は一部変更になる場合があります。

ティラミス、プリンなど、定番デザートをより高品質に Uchi Café SWEETS 1周年



2010年9月にオリジナルデザートブランド「Uchi Café SWEETS」(ウチカフェスイーツ)が発売1周年を迎えました。2年目となる今年は、食材や製法にこだわり、さらに本格的なデザートを開発し、手ごろな価格で提供していきます。また、ご友人やご家族へのお土産にもお使いいただけるよう店頭サービスの拡充に取り組んでいきます。

■ オリジナルデザート売上は約6割の伸び

ローソンは、2009年9月に発売した「プレミアムロールケーキ」を皮切りに、生クリームにこだわったシュークリームやエクレア、旬のフルーツを使ったケーキ、ティラミス・モンブランなどの個食ケーキなど、食材にこだわったデザートを次々と発売してきました。

その結果、コンビニエンスストアのご利用頻度が低かった女性のお客さまにもご愛顧いただき、オリジナルデザート部門の売上が大幅に伸びました。「Uchi Café SWEETS」展開前の1年と比べ、オリジナルデザートを購入されるお客さまのうち、女性の割合は、約38%から約43%へ約5%上昇しました。オリジナルデザートの売上高は、年間平均で約6割伸びました。

■ “マチの洋菓子専門店”に

1周年を機に、品質を向上させたワンランク上の定番

デザートの新商品を発売するとともに、今後も、専門店やヨーロッパの手法を積極的に取り入れ、“コンビニスイーツ”の概念を大幅に超える品質を追求していきます。

また、“お土産”としてもお使いいただけるよう、価格の表示方法や店頭でお渡しする資材を変更しています。ローソンは、お近くで手軽に本格的なデザートをお求めいただける“マチの洋菓子専門店”を目指し、これまでの概念にとらわれないチャレンジを続けていきます。



本場イタリアのレシピを採用

2010年10月5日発売
「プレミアムティラミス」
210円(税込)

これまでのレシピを見直し、北海道産マスカルポーネチーズと、風味付けに本場イタリアワインを使った本格ティラミスを開発しました。本場イタリアでも使用される「ビスキュイ」(フィンガーサイズのビスケット)に、クリームを重ね、本格的な食感と風味を手軽にお楽しみいただけます。



プリンと純生クリームのハーモニー

2010年10月12日発売
「プレミアム純生クリームプリン」
150円(税込)

添加物を使用せず、牛乳・純生クリーム・卵黄・砂糖のみでつくるプリンです。プリンは2層に分かれており、上層部はしっかりとした食感、下層部はとろけるなめらかな食感です。プリンの上にはロールケーキで人気の「純生クリーム」をのせています。



コンビニエンスストアとデリカテッセンの融合モデル 『ローソン神戸ほっとデリ』を全国展開へ

ローソンと(株)神戸物産のノウハウを結合した合併会社である(株)神戸ほっとデリは、全国のローソン店舗への『ローソン神戸ほっとデリ』の導入を始めました。2010年度は関東・関西を中心に展開し、2015年度までに全国への展開を目指します。

「食の改革」…あらゆる食のシーンをサポート

『ローソン神戸ほっとデリ』は、3つのサービスを組み合わせ、いつでも・どこでも・手軽にレストランの“できたて”の味を提供します。目の前で調理するライブ感や、ご自身で盛り付けるビュッフェなどのわくわく感にあふれたオープンキッチン方式でコンビニの食が明るく楽しく変わります。

1.「ライブキッチン」

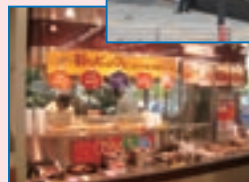
お客さまのご注文を受けてから目の前で調理するあつあつメニュー。「オムライス」「豚焼肉弁当」「海鮮焼きそば」「生パスタ」「ピザ」など約10種類。

2.「彩りビュッフェ」

豊富なメニューがそろそろセルフ式盛り放題コーナー。「カレー」「ビーフシチュー」「揚げ鶏の黒酢あんかけ」「コロッケ」「かぼちゃ煮」「鶏肝のしぐれ煮」「ポテトサラダ」「厚焼き玉子」など約25種類を日替わりで販売。

3.「できたて弁当」

昼食などのピーク時間に用意する本格店内調理弁当。「チーズハンバーグ弁当」「鶏と根菜の辛味和え弁当」「鶏照り焼き弁当」「鶏そぼろ弁当」など約10種類を日替わりで販売。



ローソン白金台二丁目店

(株)神戸物産

全国で523店舗を展開する「業務スーパー」のフランチャイズ本部であり、国内外に自社工場を持つ食品メーカー。自社農園で栽培する農作物などを自社工場で加工後、自社の物流システムで店舗に配送する食のSCM(サプライチェーン・マネジメント)を構築しています。

ヘルスケア事業の拡大 マツモトキヨシ、クオールとの連携

ヘルスケア関係の企業と連携した新業態の店舗が相次いでオープンしました。これを皮切りに、さまざまな形態の店舗を順次出店し、お客さまの安心や健康づくりに貢献していきたいと考えています。

ローソンストア100 浦安東野店

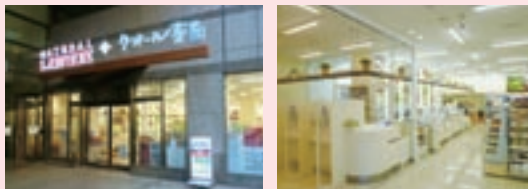


2010年7月17日、ドラッグストア「マツモトキヨシ浦安東野店」の店内に「ローソンストア100」を組み込んだ共同店舗がオープンしました。ヘルス&ビューティケア関連商品と生鮮食品とが一緒になった利便性の高さが魅力です。

特徴

- それぞれの店舗が持つ強みと専門性を活かしたワンストップショッピングが可能な店舗を開発
- 地域特性とお客さまのニーズに合わせた、商品・サービスの提供による利便性を向上
- 共同キャンペーン等の実施による顧客サービスを充実

ナチュラルローソン 城山トラストタワー店



2010年8月2日オープン。薬剤師の持つ高い専門性とコンビニエンスストアの利便性を兼ね備えた、新しい形態の調剤薬局併設型コンビニエンスストアです。医食同源を追求し、付加価値の高い商品やサービスの提供を目指します。

特徴

- 店舗内に調剤コーナーを設置し処方せんに対応・薬剤師による高度専門情報の提供と医薬品に関するカウンセリングサービスの実施
※薬剤師不在の時間帯には、テレビ電話で店舗とクオールのコールセンター（24時間薬剤師が常駐）を結び、同様のサービスを提供しています。
- 商品は通常のコンビニエンスストアの取扱商品のほか、ヘルスケア関連の商品を強化
- 第1～第3類の医薬品販売（第2・第3類の医薬品は24時間販売）

日本のコンビニエンスストアとして初の中国内陸部出店 重慶市に進出

2010年7月13日、重慶市に中国の内陸都市において日本のコンビニエンスストアとして初出店となるLAWSON海王星店が開店しました。重慶市北部新区エリアに位置する店舗は研修施設を備えており、ここで営業しながらスタッフの研修を行い、8月末には重慶市内で2店舗が営業。今後は、5年間で200~300店の体制を予定しています。また、これからはベトナムやインドといった地域への出店も視野に入れ、海外戦略を本格化していきます。



店舗概要

店舗名: LAWSON 海王星店
住所: 重慶市北部新区星光大道62号海王星科技大厦C区1楼2号
営業時間: 24時間
店舗面積: 152m² (約46坪)
取扱品目: 約1,100品目(弁当、寿司、おにぎり、パン、調理パン、おでん、その他食品、雑貨等)

重慶市概要

総面積: 82,400km²
人口: 2,859万人 (2009年末常住人口)
通貨: 元 (1元=約13円)
GDP: 6,528億元 (2009年)
中国西部最大の工業都市で、中央政府が「西部大開発」の重要拠点として多額の国家資金を投入した交通・物流拠点への変革計画が進行中。



■ 上海でのノウハウを活かして

上海市からの招聘を受け、初めてCVSという態勢を持ち込んだ1号店を開店してから14年。日本の他社や中国系スーパーの相次ぐ進出で今や日本以上の過当競争に陥っています。そんな上海で培った日本型CVSモデルの現地化とベンダーネットワークを確立するノウハウが、重慶市での開店に大いに役立ちました。

ローソンの中国出店の歩み

1995年	上海市より招聘を受ける
1996年2月	合併会社「上海華聯羅森有限公司」設立
1996年7月	中国初のコンビニエンスストアとして上海ローソン1号店開店
2003年1月	上海市内100店舗達成
2004年度	上海華聯羅森有限公司・単年度黒字達成
2008年12月	上海市内300店舗達成 (2010年8月末現在 上海市内 318店舗)



TOPICS

農業生産法人ローソnfarm千葉が誕生

ローソンは、2010年6月に、グループ店舗への野菜の安定供給を目的として、千葉県芝山農園とともに農業生産法人(株)ローソnfarm千葉を設立しました。9月からは、関東の「ローソnstア100」の一部において、同社の農場で生産した小松菜の販売を開始。生産履歴の管理と中間物流工程の削減により、安全・安心かつ新鮮な商品を提供しています。今後は、収穫時期に合わせて、

ほうれん草、大根、にんじんなどラインナップを拡大するとともに、他の地域においても展開していきます。



栽培中の小松菜



ローソnfarmのスタッフ

ATMの導入を拡大中

ローソンは、お客さまの利便性の向上を図るため、ローソン店舗等におけるATMの設置を拡大しています。特に地方銀行との業務提携を推進することで全国各地へのATMの設置を順次進めており、2010年8月末現在では、39行の銀行のサービスを展開し、44の都道府県において7,751台を設置しています。また、ATMを運用する子会社の(株)ローソン・エイティエム・ネットワークスは、2010年2月期において14億円強の当期純利益を計上しており、ローソングループの連結業績にも寄与しています。



次世代の環境配慮「創エネ」型店舗が稼働

ローソンは、2010年6月9日、ローソン松山東石井六丁目店(愛媛県松山市)において、自然エネルギーを活用した創エネ店舗システムの実験を開始しました。太陽光発電によって得た電力をリチウムイオン電池に蓄電し、店内のLED照明やPOSレジ等で使用するものです。今後は、この実験結果を検証し、電気自動車の充電設備への活用も視野に入れ、従来の「省エネ」に加え、太陽光などから電力を創り出す「創エネ」の考えのもと、CO₂削減に取り組んでいきます。



太陽光発電装置



リチウムイオン電池

2011年2月期 第2四半期業績ハイライト(連結)

第2四半期連結損益計算書のポイント (単位:百万円)

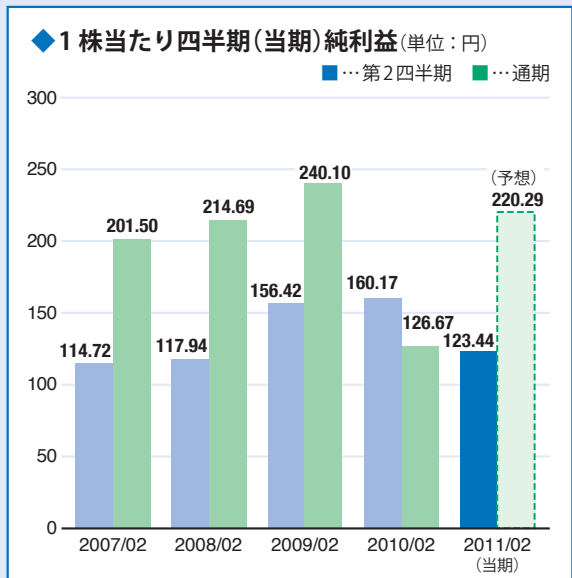
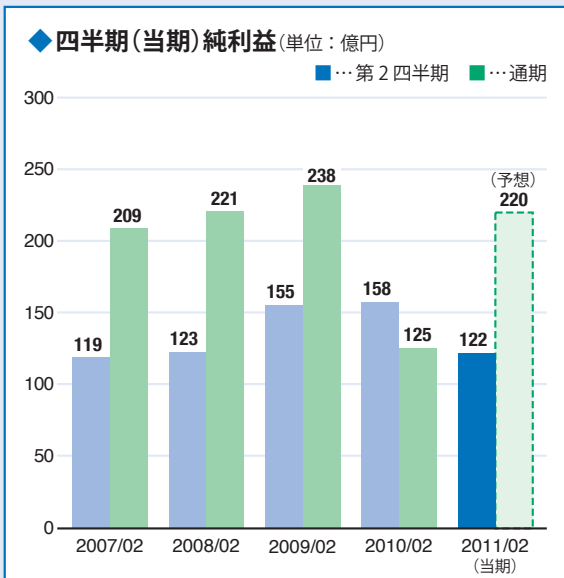
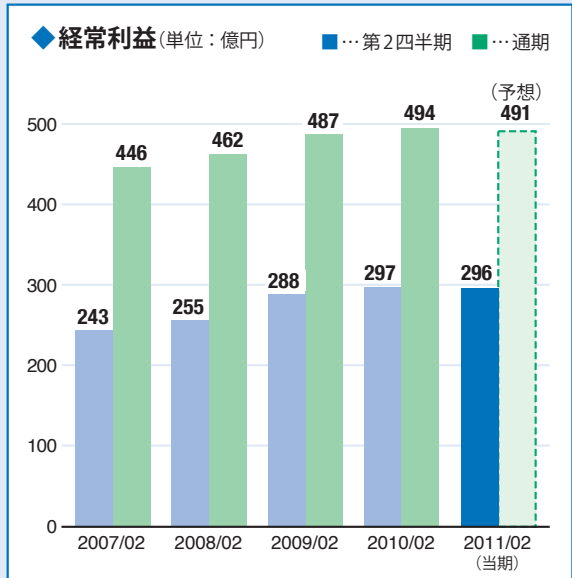
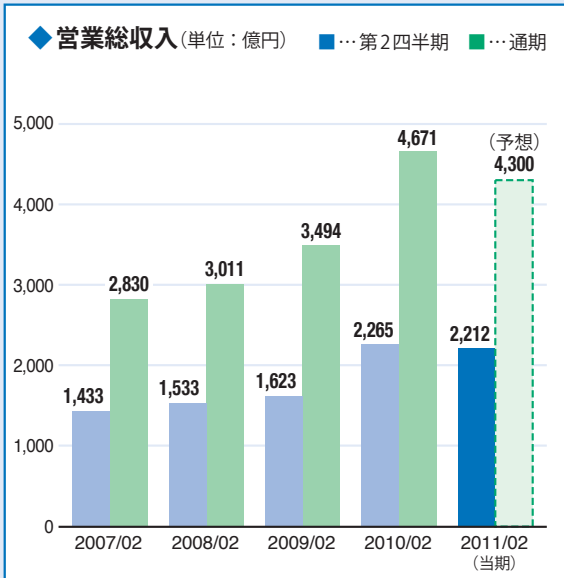
	前第2四半期連結累計期間 (2009年3月1日～2009年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (2010年3月1日～2010年8月31日)	増減率
(チェーン全店売上高)	(840,741)	(837,889)	△ 0.3%
営業総収入	226,596	221,205	△ 2.4%
売上原価	79,188	72,044	△ 9.0%
営業総利益	147,407	149,161	1.2%
販売費及び一般管理費	117,271	119,012	1.5%
営業利益	30,136	30,148	0.0%
経常利益	29,770	29,690	△ 0.3%
四半期純利益	15,883	12,288	△ 22.6%

ポイント1 営業利益が微増

フランチャイズ店舗への転換による直営店の減少に伴い営業総収入が減少したものの、経費の効率的使用などにより、営業利益は前年同期より微増の301億48百万円となりました。

ポイント2 減損損失の計上及び固定資産の売却により四半期純利益が減少

(株)九九プラスへのPRiSMシステムの早期導入に伴い既存システムの減損損失を計上したことや、当社の研修施設である東富士ゲストハウスの売却損失を計上したことなどにより、四半期純利益は前年同期比22.6%減の122億88百万円となりました。



第2四半期連結貸借対照表のポイント (単位:百万円)

	前 期 末 (2010年2月28日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2010年8月31日現在)	増減額
流 動 資 産	132,198	158,584	26,385
固 定 資 産	315,933	323,288	7,355
有 形 固 定 資 産	145,308	152,052	6,743
無 形 固 定 資 産	34,407	36,327	1,920
投 資 そ の 他 の 資 産	136,216	134,909	△ 1,307
流 動 負 債	184,496	206,350	21,853
固 定 負 債	65,499	72,027	6,527
純 資 産	198,135	203,495	5,359
総 資 産	448,131	481,872	33,741

ポイント1 現金及び預金の増加などにより流動資産が増加

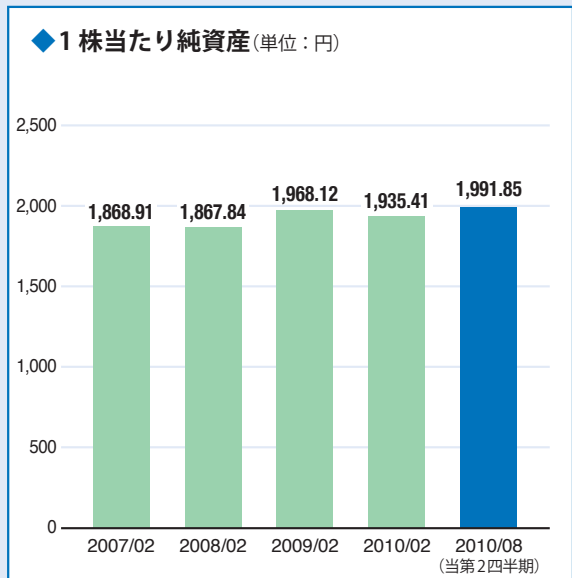
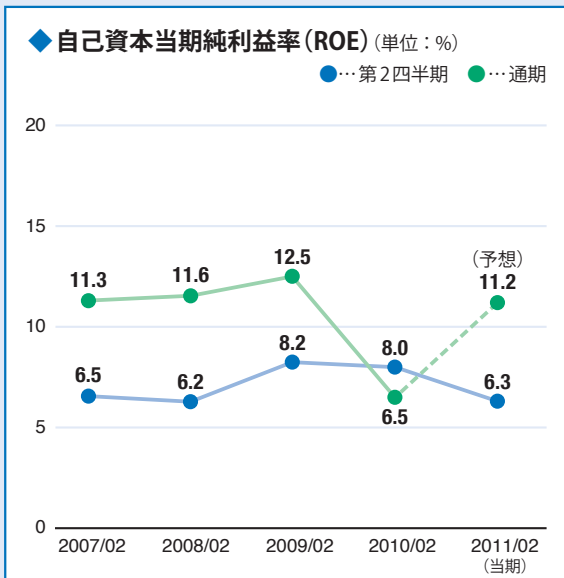
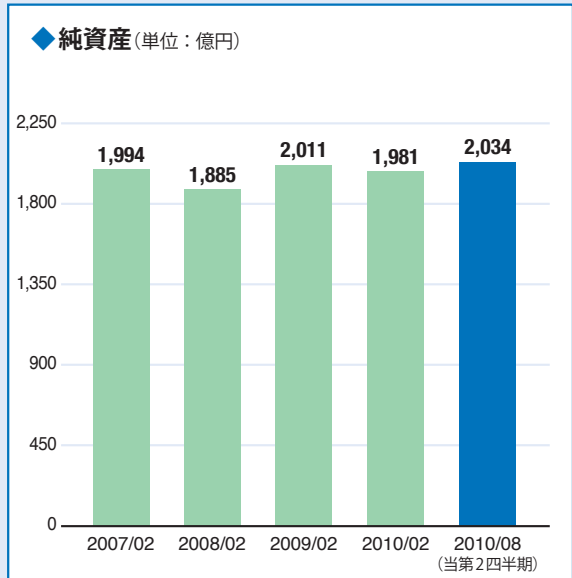
収納代行等の取扱件数の伸長による預り金の増加に伴い現金及び預金が増加したことなどにより、流動資産が前期末に比べ263億85百万円増の1,585億84百万円となりました。

ポイント2 資本剰余金の増加により純資産額が増加

(株)九九プラス及び(株)ローソンエンターメディアの完全子会社化に伴い資本剰余金が増加したことなどにより、純資産額が前期末に比べ53億59百万円増の2,034億95百万円となりました。

より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ウェブサイト「IR情報」をご覧ください。





ローソングループ企業

連結子会社

(株) ローソンエンターメディア



Lawson Entermidia, Inc.

主にローソン店舗内のマルチメディア情報端末「Loppi」を通じてコンサート、スポーツ及び映画などのチケット販売を行っています。

(株) ローソン・エイティエム・ネットワークス



主にローソン店舗におけるATMの設置、管理及び運用に関する業務や、入出金・振込等、ATM網を利用した提携金融機関の金融サービスに係る事務受託などを行っています。

(株) クロスオーシャンメディア



ローソン店舗を通じて新メディアの開発及び運用を行っています。

※2010年3月1日設立

(株) 九九プラス



主婦や中高年のお客さまを主な対象とし、価値ある商品をシンプルプライスで提供する「ローソンストア100」や「SHOP99」などの直営及びフランチャイズチェーン展開を行っています。

(株) ベストプラクティス



コンビニエンスストアに関する実態調査を行い、ローソン店舗の改善に係る助言及び提案を行っています。

重慶羅森便利店有限公司

中華人民共和国重慶市でローソン店舗の展開を行っています。

※2010年4月29日設立

持分法適用関連会社

上海華聯羅森有限公司

当社と百聯集团有限公司(中華人民共和国)との合弁会社で、中華人民共和国上海市でローソン店舗のチェーン展開を行っています。

(株) ローソン沖縄

当社と(株)サンエーとの合弁会社で、沖縄県でローソン店舗のチェーン展開を行っています。

ローソン検定

～CSR活動編～

私たちローソングループは、豊かな地球の恵みを次世代へ引き継ぐため、常に環境に配慮した事業活動を行うとともに、地域社会との共生と持続可能な発展に向けて、積極的に行動しています。そこで今回のローソン検定ではローソンのCSR活動を取り上げます。

Q₁

森林保護を目的に1992年から実施している「ローソン緑の募金」の金額は、本部の寄付金を含め累計でいくらになったでしょうか？

- ①約5億円 ②約10億円 ③約30億円

A₁

正解は③です。
ローソンでは、19年間にわたり「ローソン緑の募金」を継続し、社団法人国土緑化推進機構を通じて国内外の森林整備活動を支援しています。



Q₂

レジ袋削減のため、ローソンが展開しているケータイバッグ運動。ローソングループと賛同企業によるケータイバッグの総配布枚数は何枚でしょうか？

- ①約2.5万枚 ②約25万枚 ③約250万枚

A₂

正解は③です。
ケータイバッグは一部のローソン店舗での無償配布や店頭端末のLoppiで販売しています。ケータイバッグの普及やお客さまへのお声掛けなどにより、レジ袋の削減に努めています。



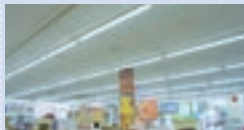
Q₃

2009年6月以降、新店の看板や店内照明にはLED照明を導入していますが、この取り組みにより、従来に比べ何%の消費電力を削減できるでしょうか？

- ①約15% ②約25% ③約35%

A₃

正解は③です。
このほか、冷凍・冷蔵機器や空調設備への最新のエネルギー機器の導入なども手掛け、2012年度に1店舗当たりの電気使用によるCO₂排出量を2006年度比で10%削減することを目指しています。



Q₄

ローソンでは他社に先駆けて、店舗指導員の巡回車に電気自動車を導入していますが、2010年8月末時点では何台導入したでしょうか？

- ①11台 ②21台 ③41台

A₄

正解は③です。
CO₂削減のために電気自動車の導入を進めるとともに、一部の店舗において先行導入している充電設備についても、将来のインフラづくりに向けて普及を進めていきます。



店舗情報 (2010年8月31日現在)

店舗数

カッコ内数字はローソストア100及びSHOP99の店舗数です。

国内合計 **9,860** (1,008) 店舗

北海道地方

536 店舗

中部地方

1,459 (132) 店舗

新潟	105	長野	131
富山	112	岐阜	121 (7)
石川	88	静岡	178 (13)
福井	99	愛知	462 (112)
山梨	69	三重	94

東北地方

829 (32) 店舗

青森	166
岩手	161
宮城	192 (27)
秋田	152
山形	59
福島	99 (5)

中国地方

551 店舗

鳥取	88
島根	89
岡山	122
広島	140
山口	112

関東地方

2,940 (626) 店舗

茨城	105 (5)
栃木	108
群馬	66
埼玉	374 (45)
千葉	350 (60)
東京	1,265 (351)
神奈川	672 (165)

九州地方

1,047 (3) 店舗

福岡	347 (3)
佐賀	60
長崎	85
熊本	91
大分	137
宮崎	81
鹿児島	107
沖縄	139*

近畿地方

2,085 (215) 店舗

滋賀	123
京都	249 (40)
大阪	956 (137)
兵庫	548 (36)
奈良	100 (2)
和歌山	109

四国地方

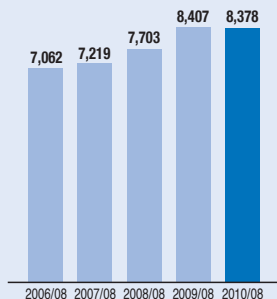
413 店舗

徳島	104
香川	98
愛媛	154
高知	57

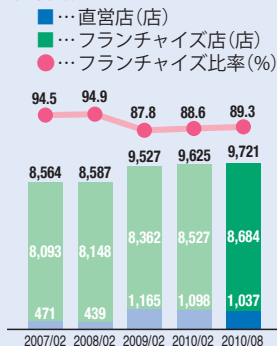
上海華聯羅森有限公司 318店舗
重慶羅森便利店有限公司 2店舗

※(株)ローソン沖縄が運営する店舗数です。

◆ 連結チェーン全店売上高 (億円)



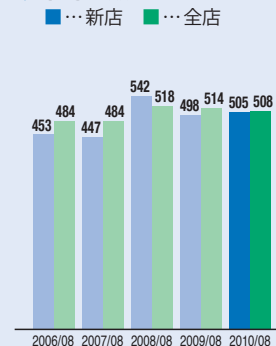
◆ 店舗数



◆ 平均客数・客単価



◆ 平均日販 (千円)



(注) 店舗数は、2009/02からローソン、ナチュラルローソン、ローソストア100及びSHOP99の合計を記載しています。

会社概況／株式情報 (2010年8月31日現在)

会社概要

社名 株式会社ローソン
所在地 〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号
 ゲートシティ大崎 イーストタワー
 TEL.03-5435-2770
設立 1975年4月15日
資本金 585億664万4千円
社員数 3,399人(単体)
事業内容 コンビニエンスストア「ローソン」及び「ナチュラルローソン」のフランチャイズチェーン展開

役員 (2010年9月1日現在)

代表取締役社長	新浪 剛	執行役員	村山 啓
取締役専務執行役員	矢作 祥之	執行役員	木島 一郎
取締役常務執行役員	浅野 学	執行役員	安平 尚史
取締役	森山 透	執行役員	前田 淳
取締役(社外)	田坂 広志	執行役員	唐笠 一男
取締役(社外)	米澤 禮子	理事執行役員	後藤 憲治
取締役(社外)	垣内 威彦	理事執行役員	河村 肇
常勤監査役(社)	中野 宗彦	理事執行役員	井関 廉浩
常勤監査役	関 淳彦	理事執行役員	遠藤 裕之
監査役(社外)	小澤 徹夫	理事執行役員	澤田 正幸
監査役(社外)	増 一行	理事執行役員	郷内 正勝
専務執行役員	川村 隆利	理事執行役員	和田 祐一
常務執行役員	今川 秀一	理事執行役員	山本 将毅
常務執行役員	加茂 正治	理事執行役員	松山 哲人
上級執行役員	西口 則一	理事執行役員	太田 悟
上級執行役員	河原 成昭	理事執行役員	熊谷 智
上級執行役員	水野 隆喜	理事執行役員	松浦 学
上級執行役員	中井 一	理事執行役員	若林 泰
上級執行役員	宮崎 純	理事執行役員	廣金 保彦
上級執行役員	大山 昌弘	理事執行役員	佐々木 範夫
執行役員	佐藤 達	理事執行役員	木原 康志

株式の状況

発行可能株式総数 409,300千株
 発行済株式の総数 100,300千株
 単元株式数 100株
 株主数 39,378名

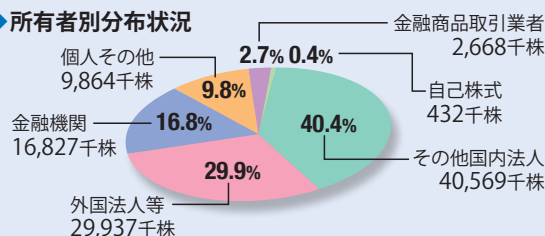
大株主 (上位10名)

株主名	所有株数(千株)	出資比率(%)
1.三菱商事株式会社	32,089	32.1
2.丸紅フーズインベストメント株式会社	4,786	4.8
3.日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,963	4.0
4.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,724	3.7
5.ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505223	3,252	3.3
6.株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	2,092	2.1
7.みずほ証券株式会社	1,800	1.8
8.ザチースマンハッタンバンクエヌエイロンドエエルコムコバスアカウン	1,510	1.5
9.ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505225	1,132	1.1
10.ロバトバンクエヌ・エイ・バンクフォーイット・オブ・ロバトバンクエヌ・エイ・バンク	1,037	1.0

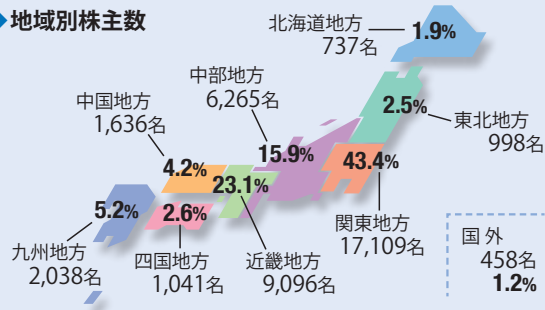
※上記の出資比率は、自己株式432,458株を控除して算出しております。

株式分布状況

◆所有者別分布状況



◆地域別株主数



..... 株 主 メ モ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
配当基準日	毎年2月末日及び毎年8月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 の 方 法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ◆ 公告掲載のURL http://www.lawson.co.jp/koukoku/index.html

株式のお手続きについてのご注意

- 1.株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求、配当金振込口座の指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。
- 3.除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行でお支払いいたします。
- 4.株券電子化に伴い、株主さまのお名前などに(株)証券保管振替機構で指定されていない文字が含まれる場合は、通知物のあて名の一部又は全部が同社の指定する文字に置き換えられることがありますので、あらかじめご了承ください。

- 当社ウェブサイトからもさまざまな情報をご覧いただけます。



LAWSON

株式会社ローソン

総務ステーション 総務(株式)
〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎 イーストタワー
TEL 03-5435-2774
FAX 03-5759-6944
<http://www.lawson.co.jp/>



- この報告書は、間伐紙を使用しています。
- アメリカ大豆協会認定の大豆油インキで印刷しています。

2010年11月発行
© 2010 LAWSON, INC. All rights Reserved.

本報告書に記載されている当社グループの現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績などに関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績などは、さまざまな要因の影響を受け、これら見通しと大きく異なる可能性があります。